

神戸マルチメディア・インターネット協議会
2006年度 事業報告

目 次

●委員会活動報告

セミナー・交流会実行委員会 事業報告……………	2
情報発信委員会 事業報告……………	4
I C T企業集積支援委員会 事業報告……………	5
人材育成システム検討委員会 事業報告……………	1 3
セキュリティ・モラル教育啓発委員会 事業報告……………	1 4
P－MODAN神戸 事業報告……………	1 6

●グループ活動報告

情報サービス産業のマーケティング研究……………	2 4
-------------------------	-----

セミナー・交流会実行委員会 事業報告

(敬称略)

委員会メンバー：

山本裕計 (アイクラフト (株))、伊藤靖 (アイ人財企画)、林 ((株) アイ・ウェイブ・デザイン)、
乙野典弘 ((株) オトックス)、塩田敬二 ((株) ケーブルネット神戸・芦屋)、
永吉一郎 ((株) 神戸デジタル・ラボ)、高瀬健亮 ((株) サンテレビジョン)、
吉田良範 (テクニカルアドバンス (株))、戸田克己 ((株) ドアズ)、
加藤泰治 (西日本電信電話 (株) 兵庫支店)、市成修 ((株) ムーブ)、
藤井保志 (インターネットビジネスネットワーク協同組合)、
永良昌三 (阪神・淡路マルチメディア産業交流会)、福岡壯治 (神戸情報大学院大学)、
澤原あゆみ (アイクラフト (株))、樽井美保 (アイクラフト (株))、小嶋崇行 (神戸市)

OKMICセミナー

平成 18 年 7 月 21 日 (金) 14:45～ チサンホテル神戸 六甲

司会：中津 知恵

(アニメーション神戸・実践型ワークショップ声優育成コース第 6 期生)

参加者：45 人

テーマ：「通信と放送の融合」

講演者：林 敏彦 (放送大学教授、スタンフォード日本センター理事長)

○第 1 回情報交流会

平成 18 年 8 月 29 日 (火) 14:45～ 関西国際空港 2 期

参加者：25 人

内容：関西国際空港 2 期見学会

○第 2 回情報交流会

平成 18 年 9 月 29 日 (火) 神戸市青少年会館 研修室

参加者：25 人

内容：「ビジネスユビキタスを実現する“USX”」

講師：岡田 伊策 (富士通株式会社 GLOVIA 事業本部 課長)

司会：松本 恵

OKMICセミナー (ICT ビジネスマッチング)

(神戸市、神戸市産業振興財団、神戸商工会議所との共催で実施)

平成 18 年 10 月 24 日 (火) 神戸市産業振興センター

参加企業数：58 社

参加人数：100 人

内容：参加企業によるプレゼンテーション、ビジネスマッチング

その他：開催後、参加企業向けに事後アンケートを実施

○デジタル映像関連セミナー

(阪神・淡路マルチメディア産業交流会、アニメーション神戸実行委員会との共催で実施)

平成 18 年 12 月 6 日 (水) 16:30～ 神戸電子専門学校 北野館地下 1 階 ソニックホール

参加者：70 人

講演：「ネット発の flash アニメーション “やわらか戦車” などのビジネスモデル」

フリーディスカッション：「神戸の若手クリエイターの力は・・・!？」

講師：(株) ファンワークス 代表取締役社長 高山 晃

司会：山田 純子 (アニメーション神戸・実践型ワークショップ声優育成コース第 9 期生)

○インターネット安心・快適フェア

(セキュリティ・モラル教育啓発委員会との共同実施)

平成19年2月8日(木) 11:00~16:00 新長田駅前広場

参加者:150名

内容:セミナー1「携帯電話・インターネット安全教室」

セミナー2「SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)、使ってますか?」

セミナー3「新しいパソコンはこんなに親しみやすくなった!」

その他:休憩時間に(株)ジャム・デザインによるHPの紹介と電子申請の紹介を実施

○KMICセミナー

(セキュリティ・モラル教育啓発委員会との共同実施)

平成19年2月8日(木) 16:00~ ピフレホール会議室A

参加者:27名

内容:「Windows Vista & 2007 Office system」の紹介

講師:田中 和明

(マイクロソフト(株)西日本ビジネス本部ビジネス開発部部長)

司会:山田 純子

(アニメーション神戸・実践型ワークショップ声優育成コース第9期生)

○ICTセミナー6

(阪神・淡路マルチメディア産業交流会との共催で実施)

平成19年3月9日(金) 16:00~ 三宮研修センター

参加者:44名

内容:「Napster Japan “Powering Music” ~音楽にパワーを吹き込むインフラ~」

講師:Paul Greenberg (ナップスタージャパン株式会社 取締役 co-CEO兼 Napster LLC アジア地域ビジネス開発ディレクター)

司会:山田 純子

(アニメーション神戸・実践型ワークショップ声優育成コース第9期生)

情報発信委員会 事業報告

(敬称略)

委員会メンバー：

内村寛 ((株) エクサージ)、山田昭 ((株) NSソリューションズ関西)、
樋口正謙 ((株) 神戸ハーバーランド情報センター)、多井剛 ((株) さくらケーシーエス)、
玉城公一 ((株) シービット)、網本雅生 ((株) ジャム・デザイン)、
若谷彰良 (甲南大学知的情報通信研究所)、保科暁子 (神戸ファッション美術館)、
福岡壯治 (神戸電子専門学校)、早川芳彦 (須磨学園高等学校)

○メールニュース「KMIC ニュース」の発行・配信 (月1回・原則第2水曜日)

平成19年3月31日までに、「230号～最終号(239号)」を発行。「臨時号」は随時発行。

ライター：伊藤 由佳、土居 倫子 / 編集作業：情報発信委員会

発行人：代表幹事 山田 昭

○ホームページによる情報発信

- ・「What's New (新着案内)」の追加・更新
 - ・メールニュース「KMIC ニュース」増刊号の追加・見出しの更新
 - ・新会員の「私たちが会員です」への追加・更新
- などを実施

ICT企業集積支援委員会 事業報告

(敬称略)

委員会メンバー：

山本裕計（アイクラフト（株））、住田哲司（伊藤忠テクノサイエンス（株））、
内村寛（（株）エクサージ）、江間恒尊（（株）神戸コミュニティ・エクスチェンジ）、
井上智夫（（株）神戸製鋼所）、永吉一郎（（株）神戸デジタル・ラボ）、
下野隆廣（コベルコシステム（株））、小橋康浩（（株）サンストリーム）、
久保木勲（生活協同組合コープこうべ）、岡村裕之（日本アイ・ビー・エム（株））、
石井保弘（日本電気（株））、木川幸則（（株）ファーイースト）、
世羅久稔（（株）三井住友銀行）、清戸伸治（チームITプロ）、赤松庸光（神戸市）、
三宅雅也（神戸商工会議所）、藤原善浩（（財）神戸市産業振興財団）、
服部兼敏（神戸市看護大学）、宮崎浩（神戸市）

ICT企業集積支援委員会では、平成18年6月に引き続き、地域のICT関連企業同士のマッチングから事業チャンスを拡大することを目的に、「ICTビジネスマッチング」を平成18年10月と平成19年6月に開催いたしました。

○ICTビジネスマッチング in KOBE（平成18年10月）

平成18年10月24日（火）神戸市産業振興センター

参加企業・団体数：59企業・団体

参加人数：100名

- プレゼンテーション 28企業・団体が各5分ずつ発表
- マッチング マッチング数：73組
- 交流会 参加者：78名

○ICTビジネスマッチング in KOBE（平成19年6月）

平成19年6月25日（月）14：00～ 神戸市産業振興センター9階・10階

参加企業・団体数：68企業・団体

参加者数：108名

- プレゼンテーション 4企業が各12分ずつ発表
 - (1) コベルコシステム株式会社
 - (2) インターナップ・ジャパン株式会社
 - (3) 慧通信技術工業株式会社
 - (4) 北都システム株式会社
- マッチング マッチング数：84組
- 交流会 参加者：64名

また、上記2回のビジネスマッチング開催後に、参加企業・団体に対し事後アンケートを実施し、その後の追跡調査を行いました。アンケート結果については次頁以降に掲載していますが、開催については多くの企業から肯定的に捉えてもらえたと考えています。

今後については、アンケート結果などを参考に、より充実したビジネスマッチングを定期的に開催し、地域のICT関連企業の事業拡大、そして地域のICT産業の振興に努めていきたい。

1. あなたが、この会合に出席した目的をお聞かせください(複数回答可)。

1 業務・技術提携先の開拓	14
2 顧客の開拓	15
3 情報収集	13
4 その他	1

その他: 企業の特徴の収集

2. 今回のビジネスマッチングについて、事前のアンケートや連絡方法など、準備全般について、改善点等がございましたらご意見をお聞かせください。

- ・ プレゼンのプログラムが、事前にわかっていればスムーズだったと思う。
- ・ 参加企業の事前情報が必要。
- ・ 時間が急に変更になったため出席予定の会社が遅れて参加していた
- ・ インターネットを有効活用してほしい
- ・ プレゼンとマッチングを同時に行くと、プレゼンの集客が悪くなるので同時に行わない。

3. 「プレゼンテーション」についてお尋ねします。

①プレゼンテーションに参加されましたか

1 参加した	25
2 参加しなかった	2

以下、④まで①で参加したと回答した企業のみ回答

②他社のプレゼンテーションを含めた全体の長さ(4時間)はどう感じられましたか？

1 短かった	7
2 適当だった	12
3 長すぎた	8

③他社が行われたプレゼンテーションについて、興味を持てるものはありましたか？

1 興味を持てるものがあった	15
2 あまり興味を持てるものがなかった	5
3 どちらでもなかった(情報として聞く程度だった)	5

④自社として、プレゼンテーションを実施されましたか

1 実施した	15
2 実施しなかった	12

以下、④で実施したと回答した企業のみ回答

⑤自社のプレゼンテーションの時間(6分)はどう感じられましたか？

1 短かった	9
2 適当だった	6
3 長すぎた	1

4. 「ビジネスマッチング」についてお尋ねします。

①ビジネスマッチングに参加されましたか。

1 参加した	26
2 参加しなかった	1

以下、①で参加したと回答した企業のみ回答

②1組当たりのマッチングタイム(15分)はどう感じられましたか？

1 短かった	6
2 適当だった	18
3 長すぎた	1

5. 今回の「ICTビジネスマッチング in KOBE」がきっかけで、業務・技術提携や受発注等の成果はありましたか？もしくは、今後ご検討の予定がごありでしょうか？

1	成果があった	2
2	相手方と交渉中	8
3	今後に向けて検討中	9
4	なかった	8

※成果の相手先や内容

- ・ システムズ・クリッパーと技術者協力で交渉中。
- ・ コベルコシステムの会社内で2回プレゼンの機会ができた。
- ・ アイクラフト、システムファームズ、ソリティ
- ・ さくらケーシーエスと交渉が可能になった。コベルコソフトサービスと交渉中。
- ・ 慧通信技術工業：インターネット接続サービス、ハウジングサービス(契約済)
- ・ ファーイースト：VPNサービス(商談中)
- ・ アイティーシステム社の商品説明会を社内の実務部隊向けに実施。具体的ニーズを探索中。
- ・ 大阪の貿易商における会計システムで協業の可能性が見つかった。
- ・ 神戸デジタル・ラボとSNSについて相談中。
- ・ ソリティ、アルファテクノロジー、サイバーネットソリューションズ
- ・ クリエーターズファクトリーと技術提携に向けての打ち合わせを持った。
- ・ 日本IBMに弊社パッケージの紹介先を依頼中。
- ・ コインパーキング用監視システムの技術を持っている会社と、今後ビジネスにつながるよう進めて行きたい。

6. 当日の説明や運営方法について、改善点等があれば、ご意見をお聞かせください。

- ・ プレゼンとマッチングが重なり、聞きたい会社のプレゼンが聞けなかった。待ち時間をなくすために繰り上げて説明した会社もあったが、その為、逆に聞き逃した事もあったのではないかと思う。
- ・ 多数の参加希望の中で、大変だと思うが、マッチングはもう少し長めにしてほしい。
- ・ プレゼンとマッチングを並行時間帯で行うと、プレゼンテーションの参加者が少なく、プレゼンターに気の毒。
- ・ アンケートを会場で配布して、その場で回収すると回収率が高いと考えます。
- ・ プレゼンの時間が短かったので、分野毎にトラックを分けてはどうか？
- ・ よく対応いただけたと感じている。
- ・ 事前に参加企業を募って情報を公開し、実りのあるマッチングにするべき。その場で初めて相手の内容がわかるのでは時間の無駄。(対象が無いなら参加する意味がないので。)
- ・ プレゼンとマッチングの時間が重なっていたため、聞けないものがあり、聞いてもらえないものがあった
- ・ プレゼンとマッチングが同時並行だったため、あまりプレゼンを聞く時間がなかった。
- ・ プレゼンとマッチングの時間が重なって聞けない部分があった。
- ・ プレゼンの希望数が多いせいもあるが、プレゼンの企業ごとの時間が短いように感じた。長ければよいというものでもありませんが、説明不足でよく分からないセッションもありました。
- ・ プレゼンとマッチングの時間調整をありがとうございました

7. その他、ご意見・ご感想などあればご自由にお書きください。

- ・ マッチングは良かったと思います。
- ・ マッチング時の机間(イス間隔)が狭かった。各社の資料をファイリングされていたのは大変助かった。
- ・ 各企業のプレゼンテーションが次から次へと忙しく感じられた。
- ・ 企業ごとの交替の時間にゆとりがあればよいと感じた。
- ・ 人が集まる場所には、色々な情報が動くので、画期的な企画であると思います。数多くの各種団体に対して開催PRを行うことにより、参加者(聞き手)を募れば、さらに充実すると考えます。
- ・ マッチングについては、マッチングを希望した側の意図が、マッチングを希望された相手側に事前に伝わるような仕組みにすれば、なお当日の時間で深い内容までの話ができるのではないかと思う。
- ・ 市内のICT企業の活性化の為に、年一回程度の継続実施をお願いしたい。

- ・ 参加に際して、題目から気後れもあったが、3部ともに和やかな雰囲気では有意義な時間が過ごせた。
- ・ 成果には直結しませんでした。このような企画は具体性があることで非常に心強く思います。世話役各位のご苦勞は大変だろうとお察ししますが、再度の実施をお願いします。
- ・ プロジェクターのスクリーンの下部が見えにくかった。
- ・ 同じ神戸市内で、すばらしい会社があることを知るいい機会だったと思います。また企画していただきたいと思います。
- ・ 今後はニーズ・シーズマッチングの機会があればよいと思う。
- ・ このアンケートもネット上で集計して、公開できる部分は公開するほうがよいのでは？
- ・ 初めての参加で準備不足があり、反省している。事前資料はわかりやすくよい企画だったと思う。
- ・ ビジネスマッチングについては、新規にて参入するものについては、非常に為になりました。プレゼンを聞く時間はあまりなかったが各社個性的な取り組みがあることが分かり、関西で事業を行う励みになった。
- ・ 定期的な開催を行い、神戸市内の企業を広めていただきたく思います。
- ・ プレゼンとマッチングの並行運営はどちらかを優先して参加したい、参加者もおられるでしょうか、バランスが難しいかと思いますがうまく折り合えるポイントを検討していただきたい。
- ・ 1人ではビジネスマッチング中のプレゼンテーションを見られないので、次回から注意したい。
- ・ 各社からのプレゼン内容に関して、時間を意識しすぎ、十分な内容を相互に共有できなかったのではないかと感じた。

「ICTビジネスマッチング in KOBE」アンケート結果

◎実施日：平成19年6月25日（月）

- ・プレゼンテーション：14時～15時（発表企業数：4社）
- ・ビジネスマッチング：15時～18時（マッチング件数：84件）
- ・交流会：18時～19時30分

◎参加者数：68社（団体）108名

◎アンケート：7月25日発送→8月10日締切、有効回答26

1. あなたが、このビジネスマッチングに出席した目的をお聞かせ下さい（複数回答可）。

1	業務・技術提携先の開拓	19
2	顧客（販売先）の開拓	12
3	顧客（購入元）の開拓	2
4	参加者間の交流	9
5	情報収集（技術や業界の動向に関する情報収集）	14
6	その他	0

2. 「プレゼンテーション」についてお尋ねします。

①プレゼンテーションを聞かれましたか？

1	聞いた	19
2	聞かなかった	7

以下、②～④は、①で「聞いた」と回答した企業のみ回答。

②プレゼンテーション全体の長さ（1時間）はどう感じられましたか？

1	短かった	5
2	適当だった	14
3	長すぎた	0

③今回のプレゼンテーションでは、発表企業数を絞って1社あたり12分で実施いたしましたが、どう感じられましたか？

1	今回のように発表する企業を4～5社程度に絞った方がよい （1社____分程度）8分、10分、12分、15分（3社）、20分	10
2	1社の時間を短くしても、発表企業を増やした方がよい （1社____分程度）5分、6分、7～8分、8分、10分	5
3	1社の時間を長くして、発表企業さらに絞った方がよい （1社____分程度）30分（2社）	3

その他：全体の時間を増やして、会社数とプレゼン時間を増やすべき（1社15分）また、テーマ別に時間帯を分ける等すればより時間帯効果が高いと思われる。

④4社のプレゼンテーションについて、興味を持てるものはありましたか？

1	興味を持てるものがあった	6
2	あまり興味を持てるものがなかった	4
3	どちらでもなかった（情報として聞く程度の内容だった）	9

⑤今後、どのようなプレゼンテーションを聞いてみたいですか？

- 地域活性化につながるIT技術関連
- マーケティング、広告関係の企業によるプレゼン
- 会社説明、サービス説明をコンパクトに説明してほしい
- 今回のプレゼンは聞いていておもしろい話も多々あり、知りたい企業であればその企業の内情がすごく分かるのでとても有意義なものだと思います。
- このビジネスマッチングを通じて、関係（商談など）が成立した具体的な成功事例を発表してはいかがでしょうか？
- 他社には絶対に負けたくない技術、価格、社員教育など。
- 特許取得した、独自製品を開発している企業やユニークな取り組みをしている企業の成功談など。
- 業績を伸ばしている企業や話題の企業の講演など。
- 今後の世界の移り変わりを予測した上で、各社のサービスがどのように役立っているかのプレゼンテーションを聞きたい。
- 総体的にどのような事業を行っている企業なのか、またどのような取り組み、アクションを行っているのかを聞きたい。

3. 「ビジネスマッチング」についてお尋ねします。

①ビジネスマッチングに参加されましたか？

1	参加した	23
2	参加しなかった	3

以下、②は、①で「参加した」と回答した企業のみ回答。

②1組当たりのマッチングタイム（15分）はどう感じられましたか？

1	短かった	8
2	適当だった	15
3	長すぎた	0

その他：時間が短く通常の話しの展開だと足りなかった。20分ぐらいあれば良いと思います。

4. 「交流会」についてお尋ねします。

①交流会に参加されましたか？

1	参加した	17
2	参加しなかった	9

以下、②は、①で「参加した」と回答した企業のみ回答。

②交流会について改善点がございましたらご記入ください。

- 新しく来られた会社の方が交流しやすい工夫・配慮を。
- 料理をもう少し改善してほしい。
- 料理が食べにくいものばかりであったので、お寿司などつまめるようなものを多くするほうが良い。
- 年齢層でグループができてしまっていたように感じたが、逆にその方が意気投合しやすいので良いと思う。今後は企画段階から年齢ごとにグルーピングすると後のビジネスとしての広がりもあるかもしれない。

●着席型にすれば、もう少し歓談ができるような気がします。可能であれば一度、座席指定（最初だけ）にしてはと思います。

●馴染みの人だけが固まらない工夫が今後必要かもしれない。

●なんとなく身内の寄り合い状態が多く見られたので、本当に意味の交流会ができるような工夫が必要ではないかと思われる。

5. 今回および前回までの「ICTビジネスマッチング in KOBE」がきっかけで、業務・技術提携や受発注等の成果はありましたか？もしくは、今後ご検討の予定がありますか？

1	成果があった	4
2	相手方と交渉中	5
3	今後に向けて検討中	10
4	なかった	7

差し支えない範囲で、相手方の企業名と具体的な成果をご記入ください（複数回答可）

●今後、新規開発案件などで従来弊社が対応していないような技術要素の開発要員が必要になった場合、前向きに検討していく考えである。

●A社の営業とコラボレーションができる方向ですすんでいる

●B社と受託開発案件で交渉中

●C社に再度会って提案の予定

●D社に訪問し、弊社商品との協業の提案をした

●E社の動画圧縮技術について、セミナー等の開催を思案中

●F社と相互企業訪問によるアライアンススキームの検討、HP制作案件の紹介

●去年のビジネスマッチングの相手であったG社から受注した

●H社にシステム開発の見積もりを提出済み

●I社に弊社の案件に必要とする動画を発注予定

●J社にデータセンター（ハウジング）利用と、インターネットトランジット契約についてサービス開始。今年度、全国におけるVPN回線の提供とL社のセキュリティサービスメニュー販売の協業の話しを進めている。

●協業案件の情報交換実施が行えるようになり、結果、オンサイトでの協力の実現につながった。

6. 今回のマッチングについて、準備全般や当日の運営方法についての改善点、その他、ご意見・ご感想等があればお聞かせください。

●同業だけのマッチングを毎年繰り返すのではなく、少し関連分野を広げての開催やテーマを持たせた開催などを検討してはどうか？

●テーマが雑多でマッチングしにくい業種の方が手持ち無沙汰でおられる状況が気になった。

●交流会の時の名札に名刺を使用していたので見えにくかった。マッチングの時に使用していた名札が見やすくよかった。

●各企業とのマッチング時間は30～60分を取ってほしい。

●マッチングの時間は2倍の30分程度は必要と感じた。

●マッチングの件数を1社あたり2～3社に少なくしてほしい。

- システムの開発会社が多く、お互いに販社を探していて目的が同じということが多かった。販売会社をもっと参加してもらえたら有り難いと思いました。
- 他社・異業種との交流は、地元企業として発見があり、地域のつながりを再認識できる場であるため、参加できることを喜ばしく思っております。
- 当日の配布資料について、内容の割には重くて大きすぎると感じた。
- マッチング会場の運用は混乱がなく、場所と時間を書いた資料や掲示物が良かったと思います。
- 産業振興に係る相談コーナー（補助金、低金利貸付、その他優遇制度など）を設けたらもっと良くなると思います。
- どことどこが面談しているかが分かれると、取引先の手前、具合の悪い場面も考えられるので、マッチング相手の配布先を当事者に限定できないでしょうか？
- 各企業の参加姿勢にもたれ合いがあるように感じました。各社が事前のマーケティングやパートナーに求めるサービス、独自の特色を明確にして臨まれるようになれば良いと思います。
- 可能であれば事前に各企業の動画などを取っていただき、その動画を交流会待合室で流していただくことができればと思います。
- 前回のマッチングよりも格段に運営の流れが良くなっていた。また当日のマッチングもできたため当初の狙い通りの運営ではなかったかと思います。

人材育成システム検討委員会 事業報告

1. メンバー構成（五十音順）

(有)イメージリンク、甲南大学、神戸市立工業高等専門学校、(株)神戸新聞社、神戸デザイナー学院、(株)神戸デジタル・ラボ、神戸電子専門学校、(株)ジャム・デザイン、専門学校アートカレッジ神戸、専門学校神戸カレッジ・オブ・ファッション、(株)ダイレクトマーケティング研究所、(株)テクノツリー、(株)テレマック、ペタビット(株)、(株)ムーブ、流通科学大学、神戸市（企画調整局情報化推進課）

2. 本年度の活動内容

(1) インターンシップの試行実施

本委員会の前身である「人材育成・広報支援システム検討プロジェクト」が、インターンシップの実施に向けて2005年度に行った準備調査（注1）の結果に基づき、各教育機関にアプローチを行い、夏休み期間を利用したインターンシップを試行的に実施した。

取りかかり時期が遅くなり、教育機関や学生に対して十分な周知ができなかったことから、結果は3企業が1名ずつの受け入れするに止まったが、KMICとして初の試みをスタートさせ、企業側と教育機関側の調整で試行錯誤しながら経験値（注2）を上げたことが、次回以降につながる財産となった。

- ・受入企業…(株)神戸デジタル・ラボ、(株)シービット、ペタビット(株)（各1名）
- ・参加教育機関…神戸電子専門学校（2名）、ヒューマンアカデミー神戸校（1名）

注1：神戸デジタルコンテンツ振興会議（人材育成部会）との協働により、アンケート方式で実施。

有効回答24社のうち15社が「インターンシップの受入可能」と回答。

注2：例えば、各教育機関におけるインターンシップの告知ルート、インターンシップの期間に関する企業側と学生側の思惑の違いからくる調整の必要性…など。

(2) 検討委員会

第1回：10月3日（火）

参加者：8名（神戸デジタルコンテンツ振興会議のメンバーを含む）

- ・夏休みに試行実施したインターンシップの問題点を洗い出す場として実施
- ・企業と教育機関の間や企業と学生の間にあると感じられた「意識のズレ」を解消し、各企業や教育機関が単体では難しいことをやっという方向性を確認

事務局会議：12月19日（火）

参加者：3名（委員長、神戸デジタルコンテンツ振興会議・部会長、神戸市）

- ・委員会の目指すところを再確認するとともに、2007年夏のインターンシップの実施に向けて、企業と教育機関による「意見交換会」の開催を決定

第2回：2月22日（木）

参加者：11名（神戸デジタルコンテンツ振興会議のメンバーを含む）

- ・次回（2007年）に実施予定のインターンシップのアウトラインを決めるため、企業側、教育機関側が各々の事情を説明しあい、意見交換
- ・インターンシップと一言で言っても、就職経験と早期就労では異なるので、2種類として考えるのがベター
- ・システム系とコンテンツ系ではインターンシップに参加できる時期が異なるので、柔軟な対応を考えることが必要

3. 今後の活動予定

2006年度のインターンシップの結果を受けて、システム系については2007年の夏休みを中心に、コンテンツ系については（企業側・学生側が対応できる限り）柔軟な対応で実施していくという方向性を確認し、2006年の取りかかりの遅れの反省から、まずは夏休みの実施を目標として取り組んでいく。

セキュリティ・モラル教育啓発委員会 事業報告

(敬称略)

委員会メンバー：

伊藤靖（アイ人財企画）、森本高明（(株)NTT西日本-兵庫）、
池上勇（(株)ケイ・オプティコム）、多井剛（(株)さくらケーシーエス）、
山水千恵子（(株)セントラルサクセス）、岡村裕之（日本アイ・ビー・エム（株））、
田中和明（マイクロソフト（株））、市成修（(株)ムーブ）、松木涼子（兵庫県行政書士会）、
辻村謙一（専門学校神戸カレッジ・オブ・ファッション）、芝勝徳（神戸市外国語大学）、
長野勝利（神戸市看護大学）、山本豊（兵庫県立大学）、小嶋崇行（神戸市）

セキュリティ・モラル教育啓発委員会では、今までの親子インターネット安全教室だけでなく、新たに教育機関や企業向けにセキュリティの講座などが開催できないか検討してまいりましたが、統合の話もあり、新たなセキュリティ講座については、統合後の委員会に持ち越すこととなりました。

その一方、セミナー・交流会実行委員会と共同で、新長田駅前広場にて市民向けの「インターネット安心・快適フェア」を開催するなど、新たな取り組みも実施する事が出来ました。

○委員会開催記録

第1回委員会

日時：平成18年10月5日（木）17:00～18:40

場所：さくらケーシーエス

第2回委員会

日時：平成18年11月13日（月）17:00～18:10

場所：神戸市役所1号館11階 教育室

第3回委員会

日時：平成18年12月11日（月）17:00～18:10

場所：神戸市役所1号館11階 教育室

第4回委員会

日時：平成19年1月15日（月）17:00～18:10

場所：神戸市役所1号館11階 教育室

第5回委員会

日時：平成19年2月22日（木）17:00～18:30

場所：神戸市役所1号館12階 企画調整局会議室

○インターネット安心・快適フェア

平成19年2月8日（木）11:00～16:00 新長田駅前広場

参加者：150名

内容：セミナー1「携帯電話・インターネット安全教室」

セミナー2「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、使ってますか？」

セミナー3「新しいパソコンはこんなに親しみやすくなった！」

その他：休憩時間に（株）ジャム・デザインによるHPの紹介と電子申請の紹介を実施
セキュリティ・モラル教育啓発委員会では、2月8日に「インターネット安心・快適フェア」を実施しました。このイベントは情報セキュリティ啓発事業のひとつとして、当協議会と神戸市、神戸産業振興財団が開催したものです。今回はいつもと趣を変え、新長田駅前に設置されたマイクロソフトのエアドームがセミナー会場となりました。ドーム内では、市民向けセミナーのほか、1月30日に発売されたばかりのWindows Vistaと2007 Office systemの体験コーナーも設けられました。

セミナーでは「携帯電話・インターネット安全教室」をはじめ、市民向けに3つのセミナーを開催いたしました。

○親子で楽しむインターネット安全教室

平成19年3月25日（木）13:30～ 15:00～ 神戸市看護大学

参加者：9組18名

急速に普及し、今や1人に一台となった携帯電話やインターネット。便利な反面、オークション詐欺や個人情報の漏洩など、様々な問題が起きています。

このような問題に適切に対処できるようになるためのセキュリティ対策やマナーについて、市内の小中学生とその保護者を対象に、親子で楽しみながら学べる教室を、3月25日（日）に神戸市看護大学で開催いたしました。

今回はセカンドライフやSNSなどの新しいインターネットサービスで注意しなければいけないことも追加して、より充実した内容で実施いたしました。

特にインターネットを使うにあたっての注意事項をゲーム形式で答えながら勉強していくホームページを使って講義を行ったために、参加した子どもたちも最後まで楽しく学ぶことができていました。また保護者の方には経済産業省のチェックPCのホームページなどを紹介し、大人から子どもまで楽しめる内容となりました。

P-MODAN神戸

～こどもたちの夢をインターネットがつなぐ～

平成19年8月21日

地域ICT推進協議会 P-MODAN神戸

メンバー

平成18年度

☆乙野博典(オトックス)
赤松庸光(神戸市)
井上あい子(ケーブルテレビ神戸)
加藤泰治(西日本電信電話 兵庫)
木川幸則(ファーイースト)
辻村謙一(専門学校神戸カレッジ・オブ・
ファッション)
服部兼敏(神戸看護大学)
藤原秀樹(事務局 神戸市)
發知良之(アルファミクス)
渡邊智明(神戸市)

平成19年4月～

☆乙野博典(オトックス)
赤松庸光(神戸市)
井上あい子(ケーブルネット神戸芦屋)
木川幸則(ファーイースト)
辻村謙一(専門学校神戸カレッジ・オブ・
ファッション)
浜崎修二(パウゼ)
藤井達司(GEOソリューションズ)
藤原秀樹(事務局 神戸市)
發知良之(アルファミクス)
矢野孝一(ヤノ電器)
渡邊智明(神戸市)

(☆:代表 50音順 敬称略)

委員会開催状況(1)

- 第1回 平成18年10月11日(水) 18時～ 今年度の活動方針
・相手先は、海外にこだわらず、ケーブルテレビのネットワーク等も含め検討
- 第2回 平成19年2月1日(木) 18時～
・海外、淡路島、養父市との交渉経過報告
・国内で再検討
- 第3回 平成19年2月6日(火) 18時半～
・テレビ会議システム視察
- 第4回 平成19年3月13日(火) 18時～
・リアルとネットの両面の交流を前提に、県下、大阪府下等数箇所候補で再調整
- 第5回 平成19年5月14日(月) 18時半～
・事前調整の結果、北区桂木児童館、高砂市真浄寺保育園メープルクラブとの交流で実施の方針決定
- 第6回 平成19年5月30日(水) 18時～
・北区桂木児童館訪問、打合

委員会開催状況(2)

- | | | | |
|------|---------------|-------|-----------------------------|
| 第7回 | 平成19年6月25日(月) | 15時～ | ・真浄寺保育園訪問、打合 |
| 第8回 | 平成19年7月12日(木) | 13時～ | ・運営等の協議 |
| 第9回 | 平成19年7月21日(土) | 11時～ | ・桂木児童館メンバーとともに真浄寺保育園訪問、運営協議 |
| 第10回 | 平成19年7月30日(月) | 13時～ | ・CATVへの依頼(BAN-BANテレビ) |
| 第11回 | 平成19年8月2日(木) | 15時～ | ・CATVへの依頼(KCVすずらんケーブル) |
| 第12回 | 平成19年8月16日(木) | 18時半～ | ・8月23日のネット会議の打合 |
| 第13回 | 平成19年8月21日(火) | 15時～ | ・セッティング、最終打合 |

実施スケジュール



○ 事前交流

7月21日 桂木→高砂 「インターネット会議に向けた事前打合*1」

8月9日 桂木→高砂 「子供たちのリアル交流会の実施*2」

8月21日 桂木⇔高砂 「インターネットを利用した事前会議*3」

◎ 本番交流

8月23日 インターネットを利用した本番交流の実施*4

○ 事後交流

9月以降 高砂→桂木 「子供たちのリアル交流会の実施」

インターネット会議に向けた事前顔合わせ*1

実施日:7月21日

参加者:桂木…西岡館長 柏尾会長

真浄寺保育園…井村園長、井村副園長

Pモダン神戸メンバー

内 容:実施に向けた事前顔合わせと実施プログラムの確認

インターネットを利用した事前会議実施*2

実施日:8月21日

参加者:桂木児童館 真浄寺保育園 Pモダン神戸メンバー

内 容:本番環境を再現し、接続試験をかねて、本番交流の内容を
確認しあう。

備 考:TANDBERG システム

子供たちのリアル交流会の実施*3

実施日:8月9日AM10時半～ 場所:姫路大塩海岸、真浄寺保育園

参加者:桂木児童館(児童24名)・真浄寺保育園(29名) Pモダン神戸メンバー

内容:本番に向けて、子供同士をリアルで交流させる。

共通の話題づくりと作業を通して、本番交流の体験をより印象深いものとする。

～実施概要～

桂木側児童が、真浄寺保育園を訪問。

- 1、オリエンテーションの実施
- 2、大塩海岸にて地引網体験
- 3、バーベキュー大会
- 4、宿題の発表(体験発表の準備、共同宣言の準備)



インターネットを利用した本番交流の実施*4

実施日:8月23日PM1時半～2時半頃まで

参加者:桂木児童館 真浄寺保育園 Pモダン神戸メンバー

内 容:リアル交流会をうけ、インターネット会議を通じて、共通の体験を通じて得た、思い出や成果を発表する。

～実施概要～

桂木児童館、真浄寺保育園とによるインターネット会議を実施

- 1、開始宣言
- 2、私たちの街を紹介します
- 3、地引網体験を語ろう(写真、絵を使おう)
- 4、一緒に歌おう その他交歓(得意芸の紹介等)
- 5、共同宣言

情報サービス産業のマーケティング研究報告

今年度は、辻先生、福井先生、東先生、多井と 4 名での研究会の実施方法に関する検討に終始しました。

第 1 回 8 月 26 日

情報サービス産業の中の特にソフトウェアを開発する会社としては、案件の数を増やし規模を維持・拡大していくために、他社と比較して劣っていないこと、つまり高い技術力とスキルのある人材（情報処理技術者試験合格者など）が豊富であるとか、特定の業務領域の専門性（業種だったり、業務だったり）があるとか、コンサルティング能力があるとか、業務設計から運営までどのフェーズ・作業でも対応可能といった、なんでもできることをメッセージとして伝えていることが多いと思います。つまり、案件の芽の取りこぼしを防ぐマーケティングになっているということがわかってきました。

しかし、経営者、とくに若い経営者は、このマーケティングのままでは生き残る方策が見えないと考えているようです。

しかし専門性で利益を確保しつつ勝負するために、自社のマーケットを絞り込めるか（市場で自社の特徴付けができるか）といえ、案件数が減るのが怖いため、なかなか踏み込めないでいるようです。

第 2 回 11 月 11 日～12 日 経営情報学会全国大会

第 3 回 12 月 29 日

国際電気通信連合（ITU）が 12 月 3 日に発表したインターネット報告を検討

1. 「固定回線利用のブロードバンドのインターネットについて、

住民百人当たりの普及率はアイスランドの 26.5%がトップ。韓国が 2 位（25.2%）で、日本は 14 位（17.5%）だった。」

2. 世界中の携帯電話利用者数は 21 億 7000 万人。

「固定電話に比べネットワークの建設費が安いと、発展途上国で急速に普及しており、アフリカでは全電話回線数に占める携帯回線の比率が約 83%と、世界平均の約 66%を大きく上回っている。」

3. 報告は 4 億人近い携帯契約者のいる中国が、独自の 3G 規格などをバネにして「将来の世界標準を形成する力を得る」と指摘。

マーケティングデバイスとして、携帯電話に比重が置かれるようになるが、効果測定の方法が確立できるか議論を行った。

第 4 回 3 月 17 日

アンケート調査費用を来年度に繰り越して再起を図ることを決定した。